

### 令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	松本平のエネルギー自立地域形成推進事業
事業主体 (連絡先)	松本平ゼロカーボン・コンソーシアム (松本市旭 3-1-1 信州大学グリーン社会協創機構内)
事業区分	(5) 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	385,870円 (うち支援金: 308,000円)

#### 事業内容

ゼロカーボンの実現は社会システムの根本的変革を必要とするものであり、市民、産業界、金融機関、行政機関、学術研究機関などの個々の努力だけでは目標への到達が難しい。広く松本地域の産学官の力を結集させ、学びあいと相乗効果のある実践を通じて、地域性と事業性との両立したエネルギー自立地域の形成が促進される事業の展開を支援。

- ・「地域主導型のエネルギー事業の確立」を主題とする定例フォーラムを開催 4回でのべ493人が参加
- ・再エネ、省エネ建築物、モビリティの3課題別部会を組織 のべ112団体が参加しプロジェクト検討



【定例フォーラム】

#### 【目標・ねらい】

- ①産学官の協働の環を会員数 100 まで広げる
- ②複数の企業・団体の協力による実践的取組が3つ以上開始

#### 事業効果

①令和4年2月に50の会員企業・団体で発足した松本平ゼロカーボン・コンソーシアムが令和4年度末の時点で113の会員企業・団体で組織される地域脱炭素のプラットフォームに成長させることができた。

②課題別部会の組織化や定例フォーラムでの交流を通じて、再生可能エネルギーやCO2排出量の見える化サービスなどの事業化に向けた共同検討や提案が始まっている。

#### ※自己評価【A】

##### 【理由】

- ・当初目標を10%以上上回る会員増を達成。広域の産学官連携の枠組みへの期待がうかがえた。
- ・地域主導の事業化支援の道筋を明確にすることができた。

#### 今後の取り組み

IPCC 第六次報告書において、今後10年の取り組みが数千年後の地球環境のカギを握ると指摘されているように、気候変動対策は地域を挙げて、スピード感をもって取り組んでいく必要がある。そのため、早急に、地域主導の事業化を実践するテスト事例を構築し、課題解決とより高次の課題へ取り組む体制づくりを両立させていきたい。

また、松本平ゼロカーボン・コンソーシアムの協働の環に加わる団体・企業を着実に増やし、様々な業種、世代の交流を加速させることで、世界的課題への取り組みを先導しつつ、市民の生活をより豊かで快適に、地域の産業をより活力ある姿に変貌させていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある